

飼料生産技術現地研修会を開催しました

令和2年10月30日

(独)家畜改良センター岩手牧場

令和2年10月29日(木)、(独)家畜改良センター岩手牧場は、ヤンマーアグリジャパン株式会社東北支社との共催により飼料生産技術現地研修会を開催しました。

この研修会は、自給飼料生産の向上を図ることを目的に平成15年から年1回開催しています。今回は、コロナ禍の中、参加人数を制限して三密を避ける形での開催となりましたが、生産者、関係機関を中心に24名の方にご参加いただきました。

研修会では、農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 作物開発研究領域 飼料作物育種グループ 上級研究員 眞田 康治氏から、「糖含量の高いオーチャードグラス中生品種『えさじまん』について」と題し、『えさじまん』の生育特性(越夏性、越冬性、病害、倒伏)、収量性及び飼料成分(糖含量・繊維含量・消化性)についてご説明いただき、サイレージに調製した場合、発酵品質が良好で、産乳量への効果が期待できる品種と分かりました。続いて、当牧場業務課 阿閉恭子生産技術専門役より飼料作物優良品種を紹介した後、ヤンマーアグリジャパン株式会社東北支社によるロボットトラクタを利用した飼料生産作業の紹介として、ロボットトラクタにディスクハロー及びブロードキャスターを装着した無人作業の実演、ドローンによる牧草密度の解析技術についてご説明いただきました。

参加者からは、「(えさじまんは)農研機構と民間種苗会社との共同育成であるからこそ、多岐にわたる調査ができた。優良な品種であることがわかった」、「今後の草地更新の参考になった」、「コロナ禍の中、情報提供していただき感謝」などの声をいただきました。

今後の研修会については、アンケートの結果「草地更新技術」、「雑草防除技術」「農機具メンテナンス」、「繁殖管理技術」について希望が多かったことを踏まえ、地域の皆様に有益な情報を提供できるよう来年度に向けて準備をしていきたいと考えております。

飼料生産技術現地研修会

開催日：令和2年10月29日（木）

場 所：（独）家畜改良センター岩手牧場

参加者： 24名

室内講義（オンライン講演）



オンライン講演：眞田 康治氏

糖含量の高いオーチャードグラス中生品種「えさじまん」について

農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センター
作物開発研究領域 飼料作物育種グループ
上級研究員 眞田 康治 氏

情報提供

「飼料作物優良品種の紹介について」

（独）家畜改良センター岩手牧場業務課
生産技術専門役 阿閉 恭子

現地実演

「ロボットトラクタを用いた①ディスク
ハローによる碎土②ブロードキャスター
による肥料散布」
「ドローンによる牧草密度の解析」

ヤンマーアグリジャパン株式会社東北支社



ディスクハローによる碎土



ドローンによる撮影



参加者の声

・（えさじまん）農研機構と民間種苗会社との共同育成であるからこそ、多岐にわたる調査ができたと思う。自信をもって流通させることができる品種である。

・今後の草地更新の参考になりました。

・コロナ禍で研修会がなかなか開催できない中、開催して情報提供をいただき大変ありがとうございました。

今後期待するテーマ

・草地更新技術	14人
・雑草防除技術	12人
・農機具取扱、メンテナンス	10人
・繁殖管理技術	5人

研修会の理解度

